

IBM Power System S822LC

データセンターの簡素化と最適化のために設計された
オープン・スタンダード・ベースのシステム

ハイライト

- クラウド環境の実装向けの高性能なオープン・スタンダード・ベースのシステム
- データと Linux のために最適化されたプラットフォームでビッグデータ、アナリティクス、Java、オープン・ソース、Linux のアプリケーションを実行
- 重要なワークロードのために設計された堅固なシステムによるアプリケーションとエンタープライズ・データの常時使用の実現
- 低い取得コストと優れた経済性を実現
- IBM® POWER8 プロセッサのパフォーマンスと機能を、標準化によるコスト面のメリットとともに実現

破壊的なテクノロジー・トレンドにより、企業のビジネス運営方法の変革が進んでいます。そして、テクノロジーの進化があまりに急激であるため、テクノロジーを活用することだけが目的のダイナミックなコラボレーション・コミュニティが形成されています。企業内外、モバイル・ワーカー、顧客や見込み客が生み出すデータの急増は、ビジネス成果を向上させるための貴重なインサイトの獲得と、影響の発生時点でインサイトを適用する新たな機会をもたらします。

先進的な機能に移行するには、重要な IT イニシアチブをサポートする統合インフラストラクチャーが必要です。IBM が提供するアナリティクス、クラウド、モバイル・アクセスといった先進的な分野に最適化されたソリューションを採用することで、市場におけるビジネス・チャンスを容易かつ迅速に獲得できるようになります。

POWER8 プロセッサのテクノロジーを採用した次世代の IBM Power Systems は、ビッグデータとアナリティクス、モバイル、クラウドのパワーを競争上の優位性に転換するイノベーションで構築されたサーバー・ファミリーです。Power Systems の新しいスケールアウト型サーバーである IBM Power System S822LC は、強力かつスケラブルで経済的なデータの活用手段を提供します。Power System S822LC は以下を実現します。

- LAMP¹、ビッグデータとアナリティクス、各種の業界向けアプリケーションといった Linux ワークロード向けの優れたスループットとパフォーマンス
- システムの最適化（業界標準メモリー、選択済みの構成、業界標準保証）で実現する低い取得コスト
- 業界標準に基づいて構築され、OpenPOWER Foundation のコミュニティー・イノベーションを取り込んだソリューション
- 大規模クラスターやスケールアウト型のデプロイメント向けに最適化された最大 20 コアの POWER8 プロセッサを搭載する 2U の 2 ソケット・サーバーで、ラック 1 台から数百台まで拡張可能なモジュール式设计

待ち時間のない世界に必要なオープンなイノベーション

ビッグデータのために設計された Power Systems は、POWER8 プロセッサが提供する優れたパフォーマンスとスループットを、業界標準化によって最適化したシステムとともに提供します。もう、処理を待つことはありません。

ビッグデータとアナリティクスの要求に対応

企業は、大量のデータを蓄えています。Power Systems は、データを保管、保護するとともに、必要なタイミングで実用的なインサイトをデータから引き出せます。Power Systems は、ビッグデータのために設計されています。予測分析やデータウェアハウスから、構造化されていないビッグデータの処理



や IBM Watson に代表されるコグニティブ・コンピューティング・ソリューションに至るまで、Power Systems は、データベースやアナリティクスといったコンピューティング能力を必要とするアプリケーションのパフォーマンス要求に対応して最適化されています。また、急増するデータの要求をサポートするために柔軟に拡張できます。

IBM Power System S822LC

IBM Power System S822LC は、多様な業界向けの各種アプリケーション、ビッグデータ、LAMP といった高価値の Linux ワークロード向けに、優れたパフォーマンスとスループットを發揮します。Power System S822LC は、優れた信頼性、保守性、可用性を実現するとともに、OpenPOWER Foundation のイノベーションを取り込むことで、ビッグデータ、Java、オープン・ソース、業界向けアプリケーションを 1 台のサーバーで実行したいという要求に対応します。

IBM をお勧めする理由

IBM は、Linux Journal の読者が選ぶ「2013 Readers' Choice Awards」の「Best Linux Server Vendor」カテゴリーの賞を 3 年連続で受賞しました。この評価は、業界最先端のコラボレーションと画期的なテクノロジーに対する IBM の継続的なコミットメントの価値を実証するものです。

2014 年に、IBM は、次世代チップ・テクノロジーの作成に 30 億ドルの研究開発投資を新たに行うことを発表しました。次世代チップ・テクノロジーは、クラウド、ビッグデータ、コグニティブ・コンピューティングに必要なシステムの開発を促進するでしょう。より具体的には、新しい素材として、7 ナノメートルを超えるシステム機能を作成するためのカーボン・ナノチューブ、グラフェン、ナノフォトニクスが挙げられます。



Power System S822LC の概要

システム構成	モデル 8335-GCA
プロセッサとメモリー	
マイクロプロセッサ	POWER8 プロセッサ・カード (8 コア, 3.32 GHz)×2 POWER8 プロセッサ・カード (8 コア, 3.32 GHz)×2
レベル 2 (L2) キャッシュ	コア当たり 512 KB
レベル 3 (L3) キャッシュ	コア当たり 8 MB
レベル 4 (L4) キャッシュ	ソケット当たり最大128 MB
メモリー (最小/最大)	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB (1,333 MHz DDR3 モジュール)、32 GB/1 TB
プロセッサからメモリーへの帯域幅	115 GB/秒(チップからL4 キャッシュ) 230 GB/秒 (L4キャッシュからDIMMメモリー)
ストレージと入出力 (I/O)	
標準バックプレーン	Small Form Factor (SFF) ハードディスク (HDD)/ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) ベイ×2
メディア・ベイ	なし
RAID オプション	ハードウェア RAID はオプションの PCI Express アダプターに付属
アダプター・スロット	PCI Express 3.0 スロット x 5 NVIDIA GPU を最大 2 個使用可能
I/O 帯域幅	64 GB/秒
電源、RAS、システム・ソフトウェア、物理的特性、保証	
電源要件	200 V ~ 240 V
可用性 (RAS) 機能	プロセッサ命令再試行 選択的な動的ファームウェア更新 Chipkill メモリー ECC L2 キャッシュ、L3 キャッシュ 障害モニター搭載のサービス・プロセッサ ホット・プラグ予備電源機構と冷却ファン (GPU 搭載時は冗長電源なし)
オペレーティング・システム*	Linux on POWER (Ubuntu)
サイズ	441.5 mm (W)×86 mm (H)×822 mm (D)
保証	3 年間、翌営業日対応 CRU (交換部品の送付) 保証サービス (9×5)、保証サービスのアップグレード、メンテナンスを利用可能
エネルギー消費効率 [※]	掲載対象外

※ エネルギー消費効率とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律 (昭和 54 年法律第 49 号、以下「省エネルギー法」という) で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。ただし、複合理論性能が 200,000MTOPS 以上のものについては省エネルギー法対象外装置であり、掲載のエネルギー消費効率は参考値となります。

詳細情報

IBM Power System S822LC の詳細については、日本 IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/systems/jp/power/hardware/s822lc-commercial/index.html



© Copyright IBM Corporation 2015

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
October 2015

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Watson、Power、POWER、POWER8、および Power Systems は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本資料は最初の発行日の時点で得られるものであり、随時、IBM によって変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用できるわけではありません。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

本資料の情報は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証、および第三者の権利の不侵害の保証を含む、すべての明示もしくは黙示の保証責任または保証条件を負わないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものにすぎません。実際に使用可能なストレージ容量は、データが展開されているか圧縮されているかにより変動するため、記載された値よりも小さくなる場合があります。

* OS バージョンの詳細については、Facts and Features 資料を参照してください。

¹ Linux, Apache, MySQL, PHP



Please Recycle